

平塚市行財政改革計画（2016-2019）の見直し方針について

1 次期行革計画の策定に向けて

本市の第7次行革計画である平塚市行財政改革計画（2016-2019）は、平塚市総合計画ひらつか NEXT の策定にあわせて平成27年度に策定しました。計画期間は、総合計画の中間見直しまでの4年間、平成28年度から平成31年度までとしています。

現計画では、「民間活力の積極的活用による効率化」、「公共施設の総量縮減による持続的管理」を優先課題とし、中長期的な視点で検討・準備等を進める取組として、一定の期間で目指すべき姿を成果として掲げ、計画を推進してきました。

これまでの優先課題への取組状況、社会経済情勢の変化、総合計画の見直し状況を踏まえ、平成31年度に行革計画を改訂します。

2 計画改訂の方向性

- ・第7次行革計画策定時の見直し内容を継承
（大綱・実施計画を一体とした計画、財政健全化効果額の考え方など）
- ・総合計画のまちづくりの基本姿勢を踏まえる。
- ・平塚市行財政改革計画（2016-2019）の取組結果を検証し、反映する。
- ・国の動向や社会経済情勢の変化を踏まえる。

3 主な改訂の内容

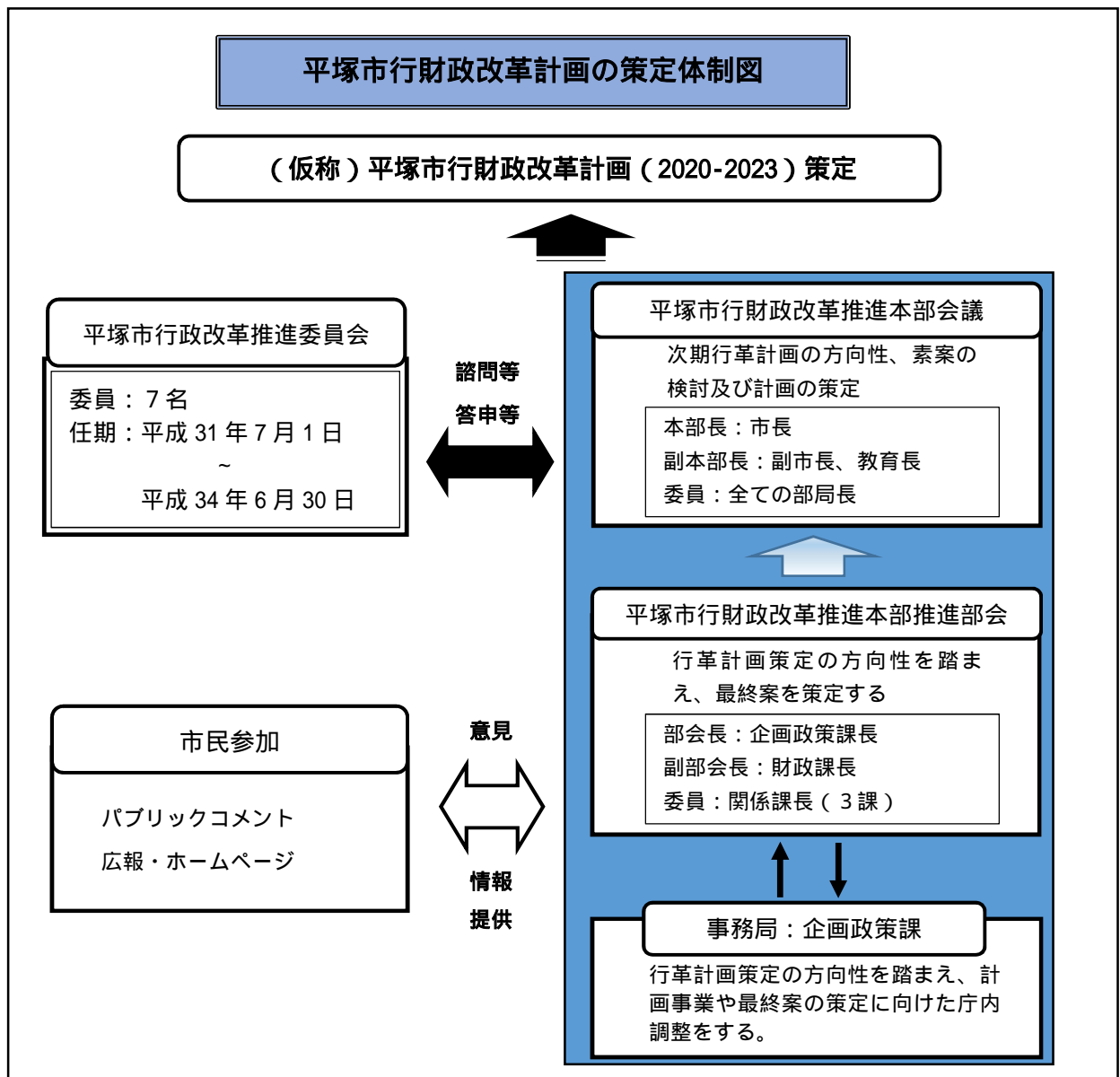
- ・原則として第7次行革計画の優先課題に対する取組を継承する。
- ・将来人口の推計や財政状況の見通しを更新し、必要な取組を追加する。
- ・可能な限り成果を意識した客観的な数値目標を設定する。
- ・国の動向や社会経済情勢を踏まえた新たな取組の視点の追加を検討する。
- ・その他、改訂内容を踏まえた必要な事項

4 策定体制

計画策定に当たっては、平塚市行財政改革推進本部推進部会を中心に素案の作成等を進め、附属機関である平塚市行政改革推進委員会での意見聴取を経て、庁内組織である平塚市行財政改革推進本部会議において計画を策定します。

なお、附属機関の現委員の任期（3年）が平成31年6月までのため、新たな委員のもと、計画策定に向けて取り組みます。

（裏面、策定体制図参照）



5 今後のスケジュール

次年度(H31)の10月を目途に計画の叩き台を作成し、12月頃にパブコメを実施、最終的に2月(状況により3月)に平塚市行財政改革推進本部会議に諮り、策定します。

平塚市行政改革推進委員会の会議においては、概ね3回程度、意見をいただくことを予定しています。

年度	H30		H31			H32
月	12	3	4	10	3	4
全体スケジュール	→ 見直し方針検討		→ 計画概要・叩き台作成、事業検討			→ パブコメ・庁内最終調整
行財政改革推進本部会議	→ 報告		→ 意見聴取	→ 素案決定	→ 策定	
行政改革推進委員会	→ 報告		→ 意見聴取	→ 意見聴取	→ 意見聴取	